

警察庁の令和2年の薬物情勢によると、大麻取締法違反の検挙人員は5034人で、前年より大幅に増加し、過去最多でした。特に20代以下の若年層が多くなっています。

大麻を初め

て使ったきっかけは「誘われ

て」が、動機は「好奇心・興味本位」

が最も多く、年齢が若くなるほど「そ

の場の雰囲気」で使用したという割

合が高くなっています。

大麻の危険性・有害性の認識は、

大麻の危険性を知らう

「全くない・あまりない」が78.2%で、認識が極めて低いことが分かりました。

このような誤った情報は、「友人や知人」と「インターネット」から得てい

ることも確認さ

れました。年齢が

若い人ほど「友

人・知人」からの割合が高く、身近な生

活環境に影響されます。社会全体で

啓発活動を行い、正しい情報を多く

発信すること

が重要です。

防犯一口メモ